

地域経済活性化にプレミアム付商品券

令和7年第1回臨時会は、1月21日に行い、専決処分の報告1件のほか、令和6年度一般会計補正予算など議案2件を原案通り可決しました。補正予算は、歳入歳出に2億3235万円を追加し、総額を192億2944万円としました。

歳入の財源は、国からの臨時交付金に加え財政調整基金から7292万円繰り入れられました。

歳出は、物価高騰対策地域経済活性化支援事業に1億4596万円、住民税非課税世帯物価高騰対策緊急支援給付金事業に8639万円としました。

地域経済活性化事業費は、プレミアム付商品券発行のための費用で、発行団体の陸前高田商工会に全額補助する内容です。

この事業を巡っては、商品券の販売時期、使用期間、経

済効果など複数の議員が質疑を行いました。市からは、市民の要望が多く、できるだけ早い時期の発行を目指すという答弁がありました。

もう買いましたか？

プレミアム付商品券購入に必要な引換券は、広報りくぜんたかた3月号お知らせ版（3月19日発行）に折り込まれています。

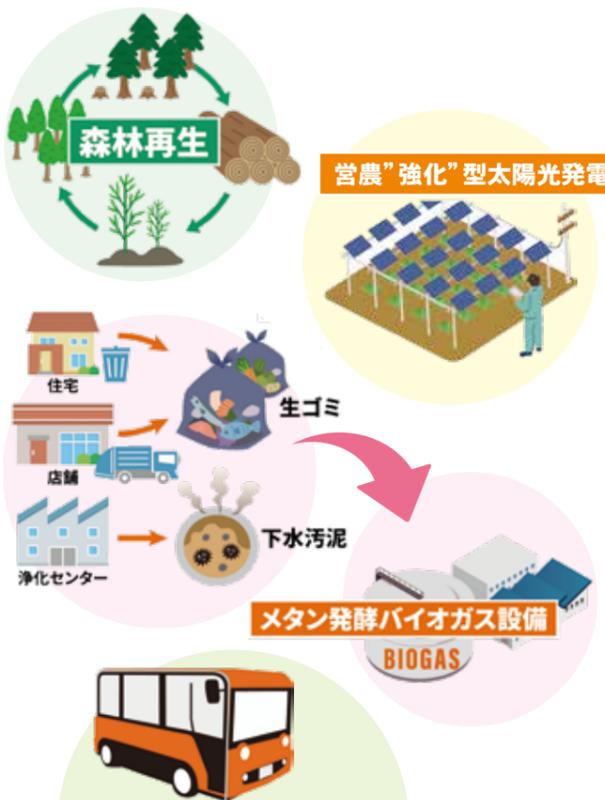
販売は、陸前高田商工会で4月25日（金）まで行う予定です。



令和7年度から 脱炭素の取り組み 本格スタート



モビタの前で はいポーズ！



グリーンスローモビリティの運行

中心市街地を2台の電動小型自動車「モビタ」が走っています。さらに滞在型観光促進と高齢者の移動手段を確保するため、5台を追加導入する計画です。

令和7年第1回定例会は、2月26日から3月21日まで行いました。議案は、人事案件2件、令和6年度補正予算5件、条例案12件、令和7年度予算6件、令和7年度補正予算1件、その他2件の計28件を原案可決。一般質問には11人の議員が登壇しました。

令和7年度一般会計の特徴は、7年度から11年度までの5年間に脱炭素先行地域として取り組む具体的内容を盛り込んだことです。地域脱炭素推進事業費として6億8千万円を計上。その中には、生ごみや下水汚泥を活用するメタン発酵バイオガス発電設備への補助などが含まれます。

他にも、注目の新規事業として、水産業省人・省力化機械普及事業やサマーフェスティバル開催補助（6〜7ページ参照）などを含みます。同会計の当初予算は、歳入歳出をそれぞれ171億6500万円とし、昨年度比2億1500

友好都市「絆」交流

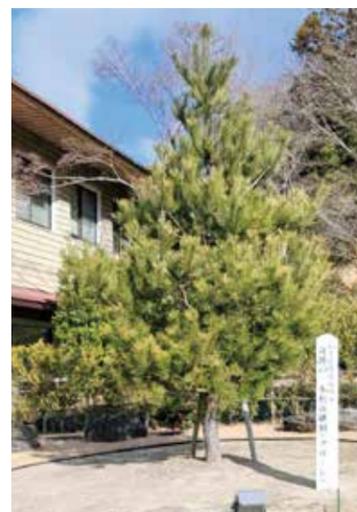
～友好都市「絆」交流名古屋市訪問～

及川修一議長ほか議員7人は、1月29日と30日、名古屋市を訪問しました。名古屋市会では、田中里佳議長はじめ会派代表と懇談。その後、昨年11月に就任した広沢一郎名古屋市長を表敬訪問しました。

広沢市長は、「絆協定」による中学生の訪問交流など友好都市としての相互の協力・交流を今後も継続していくことに意欲を示していました。

翌日は、東山総合公園を訪れ、令和3年に植樹された「奇跡の一本松」の後継樹を視察しました。東山植物園の下総勝義

園長からは「絶対に枯らすことができない」という強い決意のもと、地元ボランティアや有識者らと協力して管理してきたことが語られました。



5mを超える一本松後継樹（名古屋市東山動物園）



田中里佳議長、田邊雄一副議長と議長応接室にて

た。5歳を超えるマツの樹勢からは心のこもった管理体制がうかがわれ、本市への思いの深さを感じました。

万円（1.3%）を増額。（4〜5ページ参照）

その中で特に増額の財源となった財政調整基金の切り崩し10億8千万円について、議員間討議を行いました。（10ページ参照）

■大船渡市を支援
定例会最終日の3月21日には、補正予算が追加提案され、大船渡市林野火災の避難者を受け入れた市内宿泊施設への補助、各県からの緊急消防援助隊受け入れのための夢アリーナ電気料負担などを可決しました。

請願

「安全・安心の医療・介護実現のための関係職員の人員増、及び労働条件の改善等について」は、賛成少数で不採択としました。（11・19ページ参照）

新 人権擁護委員

岩崎利行 氏（竹駒町）
菅野美保子 氏（気仙町）